科目名	ファンクラブ運営Ⅰ			担当講師	作山　厚	
講師実務経験	ファンクラブサイト運営会社勤務 / フリーランスwebデザイナー・コーダー					
対象学年	1　学年	対象コース	コンサート制作・マネージャーコース		授業形態	講義
期　間	前期	総授業回数	13　　回	1回あたりの授業時間		135　　分
修　得　目　標	ファンクラブ運営の具体的な仕事内容を把握し必要スキルを修得する。					

回数	日程	【授　　業　　計　　画】
1	4月17日	授業ガイダンス / ファンクラブ運営概要① −ファンクラブとは？− / ファンクラブ運営概要② −求人状況と探し方 −
2	4月24日	ファンクラブ運営概要③ −アーティスト事務所との関係と ビジネスモデル− ファンクラブ運営の仕事内容① − リリース情報解禁 −
3	5月8日	ファンクラブ運営の仕事内容② −ツアー情報解禁 − ファンクラブ運営の仕事内容③ −チケット先行 −
4	5月15日	ファンクラブ運営の仕事内容③ −ライブ連動施策の企画と実施①− ファンクラブ運営の仕事内容④ −ライブ連動施策の企画と実施②−
5	5月22日	ファンクラブ運営の仕事内容⑤ −ライブ連動施策の企画と実施③− ファンクラブ運営の仕事内容⑥ −ライブ連動施策の企画と実施④−
6	5月29日	ファンクラブ運営の仕事内容⑦ −ライブ連動施策の企画と実施⑤− ファンクラブ運営の仕事内容⑧ −ライブ連動施策の企画と実施⑦−
7	6月5日	ファンクラブ運営で必要なWeb制作スキル①
8	6月12日	ファンクラブ運営で必要なWeb制作スキル②
9	6月19日	ファンクラブ運営で必要なWeb制作スキル③
10	7月3日	ファンクラブ運営で必要なWeb制作スキル④
11	7月10日	ファンクラブ運営で必要なWeb制作スキル⑤
12	8月21日	ファンクラブ運営で必要なWeb制作スキル⑥
13	8月28日	テスト対策
14		
15		

評価方法	定期試験（筆記試験）100%、平常点±10点（出席率、提出物、授業態度・取組状況など）
	成績評価方法：A
評価	上記総合評価点　S(100−90)　A(89−80)　B(79−60)　C(59−50)　D(49以下 不可)
テキスト	
注意事項	39時間中　14時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	イベント制作			担当講師		千葉　彩乃
講師実務経験	コンサートやイベント現場における電源供給・保守管理業務に従事					
対象学年	1　学年	対象コース	コンサート制作・マネージャー		授業形態	講義
期　間	前期	総授業回数	13　　回	1回あたりの授業時間		135　　分
修　得　目　標	コンサート・イベント現場で必要となる基礎知識、制作業務を修得する。					

回数	日程	【授　　　業　　　計　　　画】
1	4月17日	自己紹介 / 授業ガイダンス
2	4月24日	業界で働くこと / 制作の仕事について
3	5月8日	コンサートやイベント時のスタッフ構成、役割について−①
4	5月15日	コンサートやイベント時のスタッフ構成、役割について−②
5	5月22日	各セクションが必要とする資料について
6	5月29日	各セクションが必要とする資料について
7	6月5日	コンサート、イベントにおける舞台専門用語について
8	6月12日	イベントスケジュールの組み立て方−①
9	6月19日	イベントスケジュールの組み立て方−②
10	7月3日	資料の作成実践
11	7月10日	資料の作成実践
12	8月21日	尺貫法、幕類や吊もの、舞台図面の見方等
13	8月28日	定期試験対策
14		
15		

評価方法	定期試験（筆記試験）100%、平常点±10点（出席率、提出物、授業態度・取組状況など） 成績評価方法：A
評価	上記総合評価点　S(100-90)　A(89-80)　B(79-60)　C(59-50)　D(49以下 不可)
テキスト	
注意事項	39時間中　14時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	時事研究			担当講師		山田 佳晴
講師実務経験	テレビ・放送関連会社勤務					
対象学年	1 学年	対象コース	スタッフ関連科目受講者		授業形態	講義
期 間	前期	総授業回数	14 回	1回あたりの授業時間		45 分
修 得 目 標	ニュース・時事問題を読み解き、日常生活の思考・行動に活用する力を修得する。					

回数	日程	【授 業 計 画】
1	4月18日	授業ガイダンス、時事研究について
2	4月25日	直近のニュースについて①
3	5月9日	直近のニュースについて②
4	5月16日	直近のニュースについて③
5	5月23日	直近のニュースについて④
6	5月30日	直近のニュースについて⑤
7	6月6日	直近のニュースについて⑥
8	6月13日	直近のニュースについて⑦
9	6月20日	直近のニュースについて⑧
10	7月4日	直近のニュースについて⑨
11	7月11日	直近のニュースについて⑩
12	7月18日	直近のニュースについて⑪
13	8月22日	直近のニュースについて⑫
14	8月29日	講義振り返り、試験対策
15		

評価方法	定期試験（筆記試験）100%、平常点±10点（出席率、提出物、授業態度・取組状況など）
	成績評価方法：A
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)
テキスト	無し
注意事項	14時間中5時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	電気基礎				担当講師		鈴木　雅光
講師実務経験	イベント制作会社勤務						
対象学年	1　学年	対象コース	共通			授業形態	講義
期　間	前期	総授業回数	14　回	1回あたりの授業時間		45　分	
修　得　目　標	電気の基礎及び電気を安全に取扱するための知識を習得する。						

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月18日	授業ガイダンス
2	4月25日	基礎的な電気について　電流・電圧・抵抗
3	5月9日	直流と交流とオームの法則について
4	5月16日	直列・並列及び合成抵抗　について
5	5月23日	単相2線式、周波数、実効値について
6	5月30日	電気容量計算、ジュールの法則について
7	6月6日	リアクタンス、インピーダンスについて
8	6月13日	有効電力、無効電力、皮相電力。 力率　単相交流と三相交流について
9	6月20日	単相交流と三相交流、スター結線、デルタ結線について
10	7月4日	電圧降下・電力損失について
11	7月11日	ケーブルの種類　、電線の許容電流について
12	7月18日	電気の安全な取り扱い、発電機からの電源について
13	8月22日	複線図について
14	8月29日	定期試験対策
15		

評価方法	定期試験（筆記試験）100%、平常点±10点（出席率、提出物、授業態度・取組状況など）
	成績評価方法：A
評価	上記総合評価点　S(100-90)　A(89-80)　B(79-60)　C(59-50)　D(49以下 不可)
テキスト	
注意事項	14時間中　5時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	就職ガイダンス			担当講師		一岡　永
講師実務経験	音響会社勤務					
対象学年	1　学年	対象コース	就職対象コース		授業形態	講義
期　間	前期	総授業回数	14　回	1回あたりの授業時間		45　分
修　得　目　標	就職活動に向けた心得や、応募準備を修得する。					

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月18日	授業ガイダンス　就職活動に対する心構え/業界職の概要
2	4月25日	映像関連職の紹介
3	5月9日	舞台関連職の紹介
4	5月16日	社会人と労働について
5	5月23日	社会人教育①
6	5月30日	自己PRについて～自己分析
7	6月6日	自己PRの書き方
8	6月13日	自己PR作成
9	6月20日	求人票の見方とポイント
10	7月4日	受験企業選定に向けた優先順位について
11	7月11日	就職活動計画について/就職希望調査書
12	7月18日	自由応募と推薦求人について
13	8月22日	就職活動の具体的な流れ
14	8月29日	社会人教育②
15		

評価方法	3分の2以上の出席で修得済評価
評価	評価 修得済
テキスト	就職便覧、プリント配布
注意事項	14時間中5時間の欠席で定期試験受験不可=進級ができません（留年となります）

科目名		Vectorworks			担当講師	佐藤直子	
講師実務経験		建築士.インテリアコーディネーター					
対象学年		1　学年	対象コース	コンサート制作・マネージャーコース		授業形態	実習
期　間		前期	総授業回数	14　回	1回あたりの授業時間		135　分
修　得　目　標		ベクタ－ワ－クス操作方法.立体理解.図面製作 を修得する。					

回数	日程	.
1	4月18日	授業ガイダンス、Macの基本操作方法
2	4月25日	ベクターワークス基礎知識
3	5月9日	基本操作⇒原寸（縮尺）課題
4	5月16日	ショートカットについて　課題（練習）
5	5月23日	採寸⇒図面化　課題-1
6	5月30日	採寸⇒図面化　課題-2
7	6月6日	レイヤーについて　課題
8	6月13日	レーヤーを利用した課題-1
9	6月20日	レーヤーを利用した課題-2
10	7月4日	図面について（平面図.立面図.展開図）
11	7月11日	3D機能について　課題ー1
12	7月18日	3D機能について　課題ー2
13	8月22日	3D機能について　課題ー3（応用）
14	8月29日	グリッドについて
15		

評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度（70%）平常点±10点（出席率、提出物、授業態度・取組状況など）
	成績評価方法：B
評価	上記総合評価点　S(100-90)　A(89-80)　B(79-60)　C(59-50)　D(49以下 不可)
テキスト	
注意事項	42時間中　15時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

<table>
<tr><td>科目名</td><td colspan="5">音響理論</td><td colspan="2">担当講師</td><td colspan="3">森　良太</td></tr>
<tr><td>講師実務経験</td><td colspan="10">音響会社勤務</td></tr>
<tr><td>対象学年</td><td>1</td><td>学年</td><td>対象コース</td><td colspan="3">コンサート制作・マネージャーコース、
スタジオサウンドコース</td><td>授業形態</td><td colspan="3">講義</td></tr>
<tr><td>期　間</td><td>前期</td><td colspan="2">総授業回数</td><td>13</td><td>回</td><td colspan="2">1回あたりの授業時間</td><td>45</td><td colspan="2">分</td></tr>
<tr><td>修　得　目　標</td><td colspan="10">PAの役割と音の仕組みや性質の基本知識を修得する。</td></tr>
</table>

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月19日	授業ガイダンス
2	5月10日	音が聞こえる仕組みについて
3	5月17日	音の性質について
4	5月24日	音の性質について2
5	5月31日	音の現象について
6	6月7日	マイクロホンの仕組みについて
7	6月14日	マイクロホンの種類について
8	6月21日	マイクロホンの指向性について
9	7月5日	PAの役割について
10	7月12日	PAの仕組みについて
11	7月19日	PAの使用機材について
12	8月23日	総復習
13	8月30日	テスト対策
14		
15		

評価方法	定期試験（筆記試験）100%、平常点±10点（出席率、提出物、授業態度・取組状況など）
	成績評価方法：A
評価	上記総合評価点　S(100-90)　A(89-80)　B(79-60)　C(59-50)　D(49以下 不可)
テキスト	各回授業にてプリント配布
注意事項	13時間中　5時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	楽器概論			担当講師	森　良太		
講師実務経験	音響会社勤務						
対象学年	1	学年	対象コース	コンサート制作・マネージャーコース、スタジオサウンドコース	授業形態	講義	
期　間	前期	総授業回数	13	回	1回あたりの授業時間	45	分
修　得　目　標	4リズムを軸に楽器の基礎的な知識を修得する。						

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月19日	授業ガイダンス
2	5月10日	各ドラムセット の名称と種類について
3	5月17日	各ドラムセット の仕組みと構造について
4	5月24日	アコースティックギター、エレキギター の種類と構造について
5	5月31日	エレキベース、エレキギター のピックアップについて
6	6月7日	エレキギター 、アコースティックギターの各部名称について
7	6月14日	ギター、ベースアンプとエフェクターについて
8	6月21日	鍵盤楽器の種類と構造について
9	7月5日	電子鍵盤楽器の種類と構造について
10	7月12日	木管楽器、金管楽器、和楽器について
11	7月19日	ドラムセット の実物に触れ、理解を深める
12	8月23日	ギター、ベースの実物に触れ、理解を深める
13	8月30日	試験対策
14		
15		

評価方法	定期試験（筆記試験）100%、平常点±10点（出席率、提出物、授業態度・取組状況など） 成績評価方法：A
評価	上記総合評価点　S(100-90)　A(89-80)　B(79-60)　C(59-50)　D(49以下 不可)
テキスト	各回授業にてプリント配布
注意事項	13時間中　5時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	イベント概論				担当講師	横山　聡史	
講師実務経験	広告代理店～WEB企画制作会社設立～フリーのディレクター／プロデューサー						
対象学年	1　学年	対象コース	コンサート・マネージャー／スタジオ		授業形態	講義	
期　間	前期	総授業回数	13　回	1回あたりの授業時間		45　分	
修　得　目　標	イベントの知識とスタッフの役割、企画・運営等の基礎をを修得する。						

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月19日	授業概要の説明。 目標設定と様々なものに関心や興味を持つことの大切さを学ぶ。
2	5月10日	イベントとは何か。 イベントの定義と一般的な運営組織図を学ぶ。
3	5月17日	イベントに関わる様々なセクションやスタッフの役割について学ぶ 。 1回目（ディレクター）
4	5月24日	イベントに関わる様々なセクションやスタッフの役割について学ぶ 。 2回目（PA・レコーディング）
5	5月31日	イベントに関わる様々なセクションやスタッフの役割について学ぶ 。 3回目（照明・映像）
6	6月7日	イベントに関わる様々なセクションやスタッフの役割について学ぶ 4回目（プロデューサー）
7	6月14日	イベントに関わる様々なセクションやスタッフの役割について学ぶ 5回目（主催者、後援、協力、協賛）
8	6月21日	イベントに関わる様々なセクションやスタッフの役割について学ぶ 6回目（MC）
9	7月5日	イベントに関わる様々なセクションやスタッフの役割について学ぶ 7回目（会場選定の条件、会場との折衝）
10	7月12日	イベントに関わる様々なセクションやスタッフの役割について学ぶ 8回目（イベントの広報）
11	7月19日	イベントに関わる様々なセクションやスタッフの役割について学ぶ 9回目（メディアとインターネット、各種SNS）
12	8月23日	企画の必要性。 どの立場であっても考え、準備する必要性を学ぶ。
13	8月30日	イベントに関わる心得。 最低限必要な心得、プライオリティを学ぶ。
14		
15		

評価方法	定期試験（筆記試験）100%、平常点±10点（出席率、提出物、授業態度・取組状況など） 成績評価方法：A
評価	上記総合評価点　S(100-90)　A(89-80)　B(79-60)　C(59-50)　D(49以下 不可)
テキスト	
注意事項	13時間中　5時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	企画考案制作				担当講師	千葉　彩乃
講師実務経験	コンサートやイベント現場における電源供給・保守管理業務に従事					
対象学年	1　学年	対象コース	コンサート制作・マネージャーコース		授業形態	実習
期　間	前期	総授業回数	13　回	1回あたりの授業時間		135　分
修　得　目　標	イベントの実施に伴う資料の読み方と必要性を理解し、資料の作成法を修得する。					

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月19日	授業ガイダンス / イベント・コンサートのスタッフ構成について
2	5月10日	学内イベントの成り立ちについて（企画～準備～実施～振り返り） / 資料の種類について
3	5月17日	学内イベントの成り立ちについて（企画～準備～実施～振り返り） / 資料の種類について
4	5月24日	他己紹介（話をして相手を知る、聞きたい内容を引き出す、発表のアイディアを沸かせる）
5	5月31日	他己紹介（人前で話をする、話の筋道を立てる）
6	6月7日	模擬企画①（7月のOC装飾を考える）
7	6月14日	模擬企画①（7月のOC装飾を考える）
8	6月21日	企画発表
9	7月5日	模擬企画②（8月のOC装飾を考える）
10	7月12日	模擬企画②（8月のOC装飾を考える）
11	7月19日	企画発表
12	8月23日	グループワークの必要性と子プ課的なプレゼン方法について
13	8月30日	定期試験対策
14		
15		

評価方法	定期試験（筆記試験）100%、平常点±10点（出席率、提出物、授業態度・取組状況など）
	成績評価方法：A
テキスト	
注意事項	39時間中　14時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

<table>
<tr><td>科目名</td><td colspan="3">ペン字講座</td><td colspan="2">担当講師</td><td colspan="2">西山　香</td></tr>
<tr><td>講師実務経験</td><td colspan="7">書道教室講師</td></tr>
<tr><td>対象学年</td><td>1　学年</td><td>対象コース</td><td colspan="3">スタッフ関連科目受講者</td><td>授業形態</td><td>実習</td></tr>
<tr><td>期　間</td><td>前期</td><td>総授業回数</td><td>13　回</td><td colspan="3">1回あたりの授業時間</td><td>45　分</td></tr>
<tr><td>修　得　目　標</td><td colspan="7">きれいで美しい「ひらがな」「かたかな」「漢字」の書き方を修得し、「履歴書」の作成方法を修得する。</td></tr>
</table>

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月20日	「ひらがな」の書き方の練習
2	5月11日	「履歴書下書」の作成
3	5月18日	「カタカナ」の書き方の練習
4	5月25日	「漢字」(横書・熟語)の書き方の練習
5	6月1日	「横書文章」の書き方の練習
6	6月8日	「住所」の書き方の練習
7	6月15日	「常用漢字」の書き方の練習①
8	6月22日	「常用漢字」の書き方の練習②
9	7月6日	筆記試験
10	7月13日	履歴書作成①
11	7月20日	履歴書作成②
12	8月24日	履歴書作成③
13	8月31日	履歴書作成④
14		
15		

評価方法	3分の2以上の出席で「修得済}評価
評価	「修得済}評価(点数評価は行わない)
テキスト	
注意事項	13時間中5時間の欠席で「修得済」不可=進級ができません(留年となります)

科目名	舞台論				担当講師	竹平　耕一	
講師実務経験	放送局関連会社勤務、照明デザイナー						
対象学年	1　学年	対象コース	スタッフ系コース		授業形態	講義	
期　間	前期	総授業回数	13　回	1回あたりの授業時間		45　分	
修　得　目　標	劇場の歴史や舞台の基本的な知識および設備について修得する。						

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月20日	授業ガイダンス、
2	5月11日	西洋の上演芸術や劇場史について
3	5月18日	日本の上演芸術や劇場史について
4	5月25日	舞台の基本、平面・断面・寸法について
5	6月1日	幕類用吊物設備について
6	6月8日	照明用吊物設備について
7	6月15日	大道具用および音響反射板・スクリーンなどの吊物設備について
8	6月22日	舞台の床機構について
9	7月6日	舞台の照明設備について
10	7月13日	幕類・照明に関する専門用語について
11	7月20日	公演・舞台、機構・道具に関する専門用語について
12	8月24日	スタッフの種類と役割について/安全管理および労働災害防止について
13	8月31日	前期の総括および試験対策
14		
15		

評価方法	定期試験（筆記試験）100%、平常点±10点（出席率、提出物、授業態度・取組状況など） 成績評価方法：A
評価	上記総合評価点　S(100-90)　A(89-80)　B(79-60)　C(59-50)　D(49以下 不可)
テキスト	各回授業にてプリント配布
注意事項	13時間中　5時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	安全概論			担当講師		久本　晃三
講師実務経験	音響会社勤務					
対象学年	1　学年	対象コース	共通		授業形態	講義
期　間	前期	総授業回数	13　回	1回あたりの授業時間		45　分
修　得　目　標	日本舞台技術安全協会の定める安全基準について理解し、様々な作業に潜む危険を予測できるように安全への意識を修得する。					

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月20日	授業ガイダンス
2	5月11日	安全衛生管理の基本について
3	5月18日	現場における、事故事例の紹介について
4	5月25日	ひやり、ハット事例について
5	6月1日	作業に適した服装（靴、グローブ、衣服等）について
6	6月8日	革手袋長所、短所、ヘルメット材質、寿命について
7	6月15日	ヘルメットのかぶり方、部分名称、チェック項目について
8	6月22日	ラッシングベルト,機材の運搬（台車）について
9	7月6日	台車、安全帯について
10	7月13日	健康管理と日常生活について
11	7月20日	精神的な注意事項他について
12	8月24日	始業時の打ち合わせ他について
13	8月31日	落下、飛来落下、転倒、倒壊など危険を伴う作業他、定期試験対策
14		
15		

評価方法	定期試験（筆記試験）100%、平常点±10点（出席率、提出物、授業態度・取組状況など）
	成績評価方法：A
評価	上記総合評価点　S(100-90)　A(89-80)　B(79-60)　C(59-50)　D(49以下 不可)
テキスト	
注意事項	13時間中　5時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	プランニングI			担当講師		横山　聡史	
講師実務経験	広告代理店～WEB企画制作会社設立～フリーのディレクター／プロデューサー						
対象学年	1　学年	対象コース	コンサート制作・マネージャー			授業形態	講義
期　間	前期	総授業回数	13　回	1回あたりの授業時間			135　分
修　得　目　標	企画の基本プロセスと、情報力・観察力・洞察力に基づいて企画書を作成するまでの過程をを修得する。						

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月20日	授業概要とコンサート・イベントコースの説明。 様々なものに関心や興味を持ち、情報収集することの大切さを学ぶ。
2	5月11日	「企画」の意味と手順について学ぶ。
3	5月18日	企業活動とは何か、企業の商品化計画（マーチャンダイジング）の流れを学ぶ。
4	5月25日	企画の実践① ブレインストーミング、A＋B＝Cの発想法とは何か、基本ルールを学ぶ。
5	6月1日	企画の実践② 仮想テーマに基づいたイベントの全体ブレインストーミング
6	6月8日	企画の実践③ コンセプトとは何かを学ぶ。
7	6月15日	企画の実践④ 仮想テーマに基づいたイベントの全体ブレインストーミング
8	6月22日	企画の実践⑤ 仮想テーマに基づいたイベントの班ごとブレインストーミング
9	7月6日	企画の実践⑥ 仮想テーマに基づいたイベントの班ごとブレインストーミング
10	7月13日	企画の実践⑦ 企画書の基本構成と仕様を学ぶ。
11	7月20日	企画の実践⑧ 出された案を企画書にまとめてみる。
12	8月24日	企画の実践⑨ プレゼンテーションの留意点を学ぶ。
13	8月31日	企画＝発想＋情報 プランニング力の強化法と、前期授業のまとめ。
14		
15		

評価方法	定期試験（筆記試験）100%、平常点±10点（出席率、提出物、授業態度・取組状況など）
	成績評価方法：A
評価	上記総合評価点　 S(100-90)　A(89-80)　B(79-60)　C(59-50)　D(49以下 不可)
テキスト	
注意事項	39時間中　14時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	アーティストプロモーションⅠ			担当講師	ハイジ		
講師実務経験	メジャーレーベルプロモーター、ラジオDJ、イベントMC、ナレーション等						
対象学年	1　学年	対象コース	コンサート制作・マネージャーコース		授業形態	講義	
期　間	前期	総授業回数	13　回	1回あたりの授業時間		90　分	
修　得　目　標	音楽プロモーション業務の基礎知識を修得する。						

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月21日	授業ガイダンス / プロモーションとは
2	5月12日	音楽プロモーターの役割
3	5月19日	プロモーターから得られる情報
4	5月26日	CD、音源の流通の仕組み
5	6月2日	レコード会社の仕組み
6	6月9日	マネジメントとは
7	6月16日	イベンターとは
8	6月23日	ライブイベントについて
9	7月7日	プロモーションの種類、方法について
10	7月14日	北海道におけるプロモーション①
11	7月21日	北海道におけるプロモーション②
12	8月25日	リリース後のプロモーションについて
13	9月1日	試験対策
14		
15		

評価方法	定期試験（筆記試験）100%、平常点±10点（出席率、提出物、授業態度・取組状況など）
	成績評価方法：A
評価	上記総合評価点　S(100-90)　A(89-80)　B(79-60)　C(59-50)　D(49以下 不可)
テキスト	
注意事項	26時間中　9時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	Illustrator/Photoshop			担当講師	佐藤　直子	
講師実務経験	建築士.インテリアコーディネーター					
対象学年	1　学年	対象コース	コンサート制作・マネージャーコース		授業形態	実習
期　間	前期	総授業回数	5　回	1回あたりの授業時間		135　分
修　得　目　標	Illustratorの基本操作を修得する。					

回数	日程	【授　業　計　画】	
1	7月7日	授業ガイダンス・前期の修得目標の確認	
2	7月14日	Illustratorの基本操作について①　～ ツールの説明・オブジェクトの作り方 ～	課題を通して操作法を覚える
3	7月21日	Illustratorの基本操作について②　～ パスファインダーの作り方 ～	課題を通して操作法を覚える
4	8月25日	Illustratorの基本操作について③　～ レイヤー ～	課題を通して操作法を覚える
5	9月1日	Illustratorの基本操作について④　～ 文字について ～	課題を通して操作法を覚える
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度（70%）平常点±10点（出席率、提出物、授業態度・取組状況など）
	成績評価方法：B
評価	上記総合評価点　S(100-90)　A(89-80)　B(79-60)　C(59-50)　D(49以下 不可)
テキスト	
注意事項	15時間中　6時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	選択 DTM実習				担当講師		作山 厚
講師実務経験	DTM・ベース講師経験 ／楽曲配信・BGMサイト楽曲提供						
対象学年	1 学年	対象コース	実習選択者			授業形態	実習
期 間	前期	総授業回数	3(2) 回	1回あたりの授業時間			135 分

期	修 得 目 標
前期	基本的な打ち込み技術を修得する。

回数	日程	【授 業 計 画】
1	4月21日 5月12日 5月19日	サンプルファイルを活用したビート制作
2	5月26日 6月2日 6月9日	ピアノパートとベースの打ち込み
3	6月16日 6月23日	シンセサイザーVを使用した歌メロ入力
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

評価方法	3分の2以上の出席で「修得済」評価
評価	「修得済」評価（点数評価は行わない
テキスト	
注意事項	9(6)時間中 4(3)時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	PA実習（選択）	担当講師	久本　晃三

講師実務経験	音響会社勤務

対象学年	1　学年	対象コース	共通	授業形態	実技
期　間	前期	総授業回数	3(2)　回	1回あたりの授業時間	135　分

期	修 得 目 標
前期	PAという仕事を理解し、マイクケーブル、マイクスタンドの基本的な取り扱いを修得する。

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月21日 5月12日 5月19日	オリエンテーション、ケーブル巻き
2	5月26日 6月2日 6月9日	PAセクションの仕事の概要説明、ケーブル巻き、マイク、マイクスタンドの取り扱い
3	6月16日 6月23日	PAセットを組んで音を出してみる。
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

評価方法	2/3以上の出席で「修得済」評価
評価	「修得済」評価（点数評価は行わない
テキスト	
注意事項	9(6)時間中　4(3)時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	選択　REC実習		担当講師	金沢琢司	
講師実務経験	レコーディングスタジオ勤務				
対象学年	1　学年	対象コース	実習選択者	授業形態	実習
期　間	前期	総授業回数	3(2)　回	1回あたりの授業時間	135　分
修　得　目　標	レコーディング業界とレコーディングエンジニアという職業を理解し修得する。				

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月21日 5月12日 5月19日	スタジオワークを理解し、レコーディングエンジニアの職種を理解する。
2	5月26日 6月2日 6月9日	ブース内(ドラム・ベース・ギター)にマイクセッテイングをし録音作業を行う。
3	6月16日 6月23日	デモ音源を使いトラックダウンを行う。
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

評価方法	2/3以上の出席で「修得済」評価
評価	修得済」評価(点数評価は行わない
テキスト	
注意事項	9(6)時間中　4(3)時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)

科目名	選択 ヴォーカル実習			担当講師		吉田佳代	
講師実務経験	シンガーソングライター						
対象学年	1 学年	対象コース		実習選択者		授業形態	実習
期 間	前期	総授業回数	3(2) 回	1回あたりの授業時間		135 分	

期	修 得 目 標
前期	発声法基礎と歌唱法を修得する。

回数	日程	【授 業 計 画】
1	4月21日 5月12日 5月19日	発声法基礎(高音域・低音・中音域) 歌唱法(ミックスボイス)
2	5月26日 6月2日 6月9日	発声法基礎(高音域・低音・中音域) 歌唱法(ビブラート)
3	6月16日 6月23日	発声法基礎(高音域・低音・中音域・鼻腔共鳴)
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

評価方法	3分の2以上の出席で「修得済」評価
評価	「修得済」評価(点数評価は行わない
テキスト	
注意事項	9(6)時間中 4(3)時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)

科目名	選択　ギター実習				担当講師	川畑統正	
講師実務経験	ギタリスト / ヤマハ認定講師						
対象学年	1　学年	対象コース		実習選択者	授業形態	実習	
期　間	前期	総授業回数	3(2)　回	1回あたりの授業時間		135　分	
修　得　目　標	ギター演奏の基本技術と知識の修得する。						

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月21日 5月12日 5月19日	実習内容について説明、セットアップ、基本エクササイズ
2	5月26日 6月2日 6月9日	オープンコード、コードの応用、シンプルな課題曲
3	6月16日 6月23日	ブルースフォームでの様々な演奏スタイル
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

評価方法	3分の2以上の出席で「修得済」評価
評価	「修得済」評価（点数評価は行わない）
テキスト	
注意事項	9(6)時間中　4(3)時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	選択 テレビ番組制作			担当講師		田端 優一	
講師実務経験	放送局関連会社勤務						
対象学年	1 学年	対象コース	各コース			授業形態	実習
期 間	前期	総授業回数	3(2) 回	1回あたりの授業時間			135 分
修 得 目 標	番組制作の流れとスタッフの役割を理解し、基礎的知識と技術を修得する。						

回数	日程	【授 業 計 画】
1	4月21日 5月12日 5月19日	授業ガイダンス～番組制作の現場について
2	5月26日 6月2日 6月9日	テレビスタジオ、副調整室の仕組みや機材全般の取り扱い方について
3	6月16日 6月23日	テレビスタジオで番組の収録を行う
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

評価方法	2/3以上の出席で「修得済」評価
評価	「修得済」評価（点数評価は行わない
テキスト	資料配布
注意事項	9(6)時間中 4(3)時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	選択 ドラム実習			担当講師		岸林大輔	
講師実務経験	演奏家、ヤマハ、三響、ミツノ講師						
対象学年	1　学年	対象コース	実習選択者		授業形態	実習	
期　間	前期	総授業回数	3(2)　回	1回あたりの授業時間		135　分	

期	修 得 目 標
前期	Dr.Set、リズムの基本を修得する。

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月21日 5月12日 5月19日	Stick Control&Foot リズムスタイル
2	5月26日 6月2日 6月9日	リズムスタイル#2、Fill-In
3	6月16日 6月23日	リズムスタイル#2、Fill-In、エチュード演奏、まとめ
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

評価方法	3分の2以上の出席で「修得済」評価
評価	「修得済」評価（点数評価は行わない
テキスト	
注意事項	9(6)時間中　4（3）時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	選択　ベース実習	担当講師	木村圭子
講師実務経験	ベーシスト		

対象学年	1　学年	対象コース	実習選択者	授業形態	実習
期　間	前期	総授業回数	3(2)　回	1回あたりの授業時間	135　分

期	修　得　目　標
前期	発声法基礎と歌唱法を修得する。

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月21日 5月12日 5月19日	発声法基礎(高音域・低音・中音域)　歌唱法(ミックスボイス)
2	5月26日 6月2日 6月9日	発声法基礎(高音域・低音・中音域)　歌唱法(ビブラート)
3	6月16日 6月23日	発声法基礎(高音域・低音・中音域・鼻腔共鳴)
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

評価方法	3分の2以上の出席で「修得済」評価
評価	「修得済」評価(点数評価は行わない
テキスト	
注意事項	9(6)時間中　4(3)時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)

<table>
<tr><td>科目名</td><td colspan="3">照明実習（選択）</td><td colspan="2">担当講師</td><td colspan="2">鈴木　雅光</td></tr>
<tr><td>講師実務経験</td><td colspan="7">イベント制作会社勤務</td></tr>
<tr><td>対象学年</td><td>1　学年</td><td>対象コース</td><td colspan="3">共通</td><td>授業形態</td><td>実技</td></tr>
<tr><td>期　間</td><td>前期</td><td>総授業回数</td><td>3(2)　回</td><td colspan="3">1回あたりの授業時間</td><td>135　分</td></tr>
<tr><td>期</td><td colspan="7">修　得　目　標</td></tr>
<tr><td>前期</td><td colspan="7">『照明』とは、どのような仕事かを知り、自分が目指す職種と他の職種との関わりを修得する。</td></tr>
</table>

回数	日程	【授　　業　　計　　画】
1	4月21日 5月12日 5月19日	授業ガイダンス。照明という仕事について。音楽と照明について
2	5月26日 6月2日 6月9日	仕込みからシュートまでについて
3	6月16日 6月23日	光の演出効果について
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

<table>
<tr><td rowspan="2">評価方法</td><td>2/3以上の出席で「修得済」評価</td></tr>
<tr><td></td></tr>
<tr><td>評価</td><td>「修得済」評価（点数評価は行わない</td></tr>
<tr><td>テキスト</td><td></td></tr>
<tr><td>注意事項</td><td>9(6)時間中　4(3)時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）</td></tr>
</table>

科目名	文書デザイン（1期）			担当講師	熊谷めぐみ	
講師実務経験	ライター					
対象学年	1　学年	対象コース	選択		授業形態	実習
期　間	前期	総授業回数	3(2)　回	1回あたりの授業時間	135　分	
修　得　目　標	Word,Excelを中心に PCの初歩的な基本操作を修得する。					

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月21日 5月12日 5月19日	授業ガイダンス PC操作・タイピングの基礎・Wordの基本的な操作
2	5月26日 6月2日 6月9日	Wordにて、ビジネス文書の形式、文字修飾、表・図形の挿入と編集を学ぶ
3	6月16日 6月23日	Excelにて、資料の作成や初歩的な関数等について学ぶ
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

評価方法	2/3以上の出席で「修得済」評価
評価	「修得済」評価（点数評価は行わない
テキスト	
注意事項	9(6)時間中　4(3)時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）